

D班2グループ チーム「CROSS JAPAN」

FIND NEW WAYS

ICTを活用した愛される大学づくり

朝日大学

河合智親

北海道学園大学

常塚玲花

東京農業大学

後藤美穂

和光大学

田附拓也

関東学院大学

上畠洋佑

甲南大学

秋山祐亮

鹿児島純心女子短期大学

竹宮真未

テーマ

いかに魅力的な大学として多くの受験生を呼び込めるか！

18歳人口の減少により、多くの大学で入学者募集に危機感を持つようになりました。

実際に定員割れを起こす大学も出てきています。

このような状況の中で、ICTを活用して、各大学の魅力をアピールし、受験生を獲得していくにはどうすれば良いのかを考えました。

①受験対象者の拡充

- ICT技術を用いて、社会人や高齢者、身体的障がい者など従来大学で学ぶことが難しかった方がさらに学びやすくなる環境を整えます。
- 受験対象者をこれまでの「18歳」から広げることで、少子化時代に対応します。

高齢者の声・・・

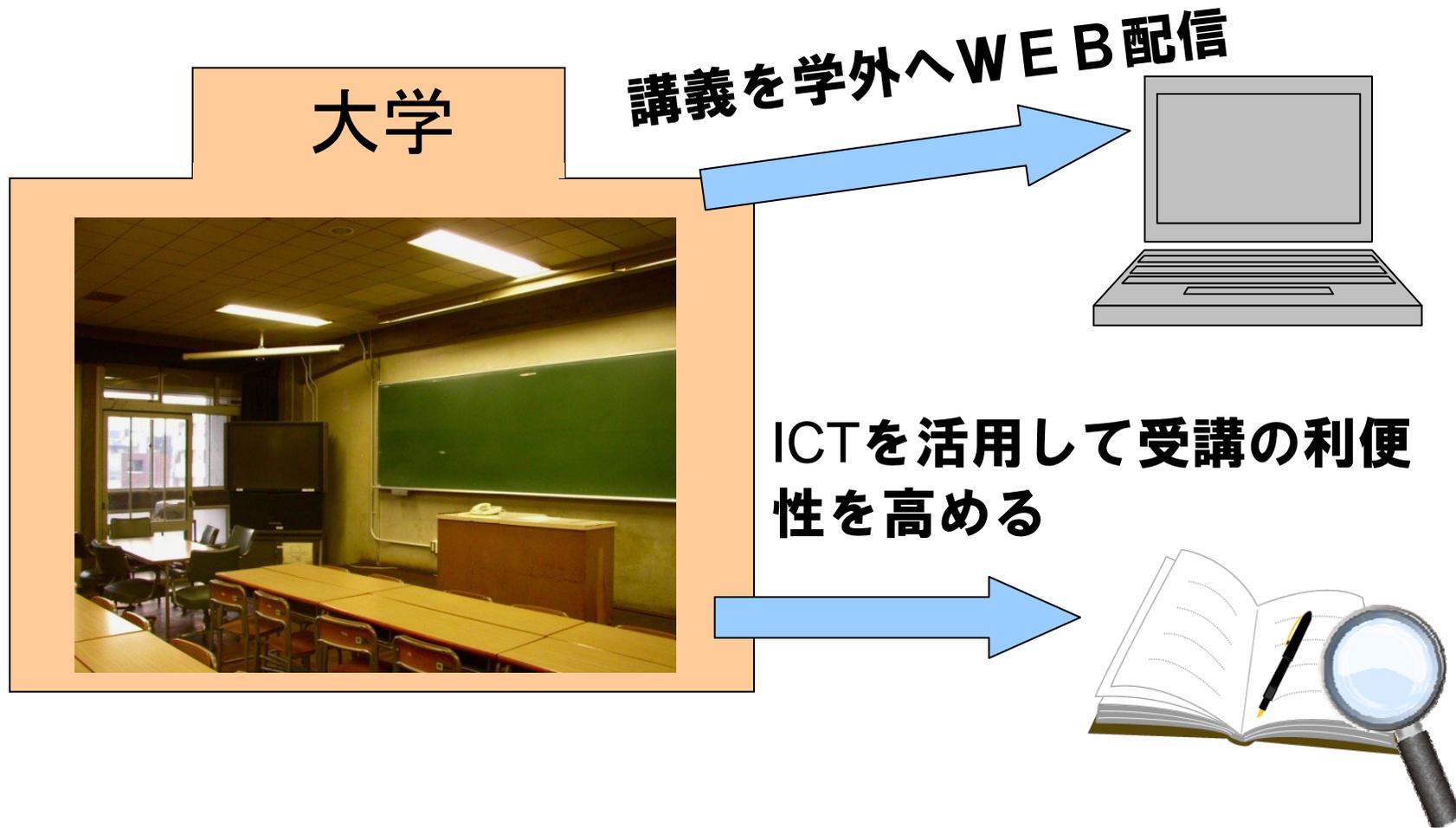
大学で学びたいんだけど、最近耳が遠くなったから入学に躊躇してしまうんだよね。大学で何かいい対策をとってくれないかなあ・・・



そのために・・・

- ICTを利用して、ハンディキャップを持った方でも、家にいながらにして講義を受けられるようにしております。また、それを繰り返し見られるようにもしています。
- 講義内容を文字に起こしたり、黒板を引き伸ばしたりの工夫をした講義も行っていますので、従来では、受講が難しかった方でも、安心して受講できます。

ICTを活用した就学弱者への講義支援



②合格者の不安解消のためのICT活用

- 最近の高校生は、人間関係の構築が苦手で、入学後に友達ができるか不安を持っている人が多いです。
- 合格者の中には「大学生活のことを先輩に聞いてみたい！」というニーズを持っている人も多くいます。
- 近年、たくさんの大学を受験する人が多いので、合格しても辞退する人も多くいます。

合格者の声...

友達ができないかもしれない...

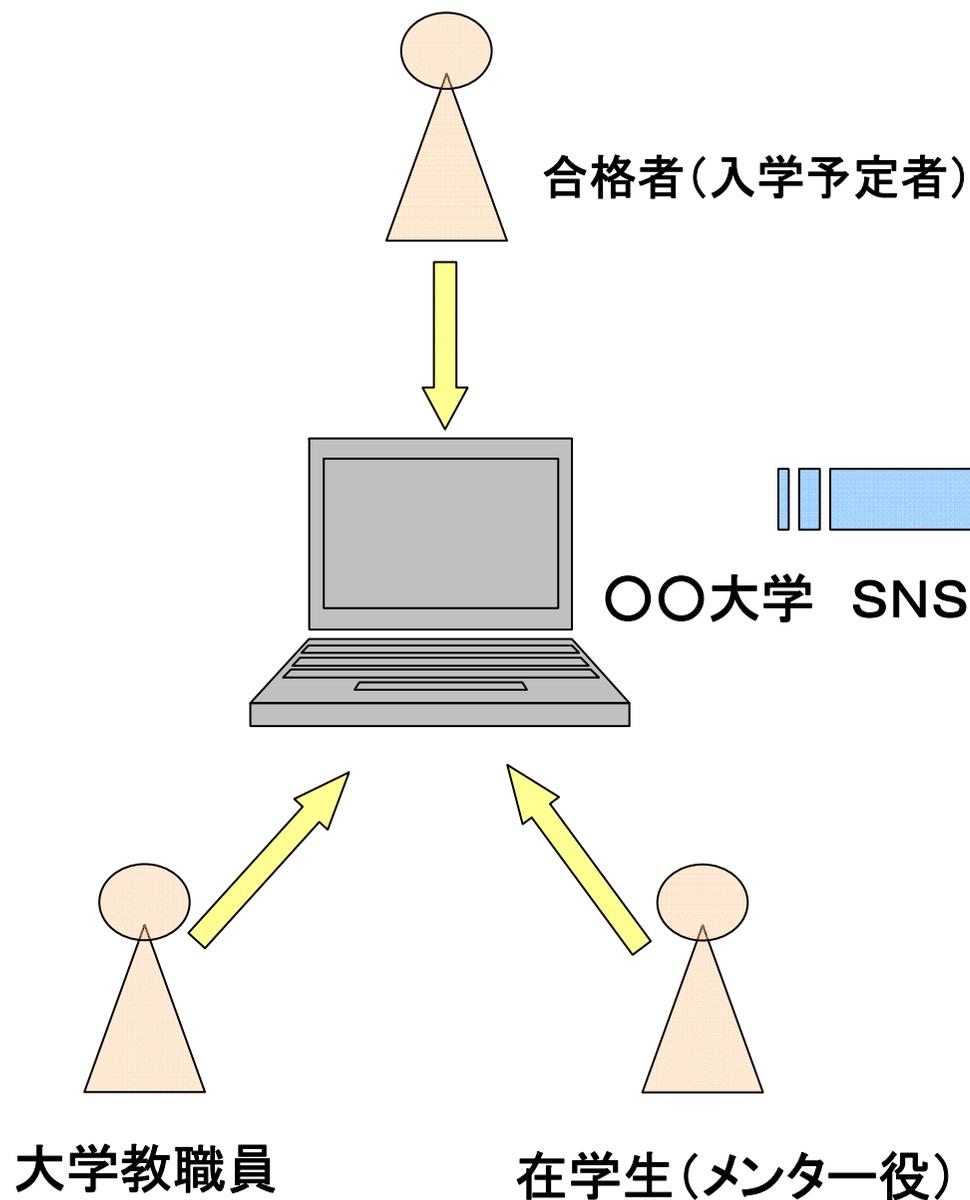
いろいろ質問や相談したいことがあるのですが...



そのために・・・

- 本学では合格者を対象にしたSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を運用しています。合格者が在学中の先輩と大学と交流することができ、入学前と入学直後の不安を解消できます。
- また、合格者同士での交流もでき、入学後の孤立はさせません。

入学前



入学後

・SNSを通じてコミュニケーションをしていることで、既にその大学の一員であるという意識を持たせ、入学辞退者を減らすことができる。

・合格者同士、また教職員や在学生のことを知っていることから、大学生生活初期の段階より孤立感を感じさせない。

③各大学の魅力を漏れなく広報

- 各大学で行われている優秀な研究や、社会的に有意義な学生の活動があまり表に出ていません。また、それぞれの研究や活動を広報する術を知らない人も多くいます。
- 各大学が持っている魅力を漏れなく広報することができれば、もっと学生が集まるのではないかと考えました。

学校関係者の声・・・

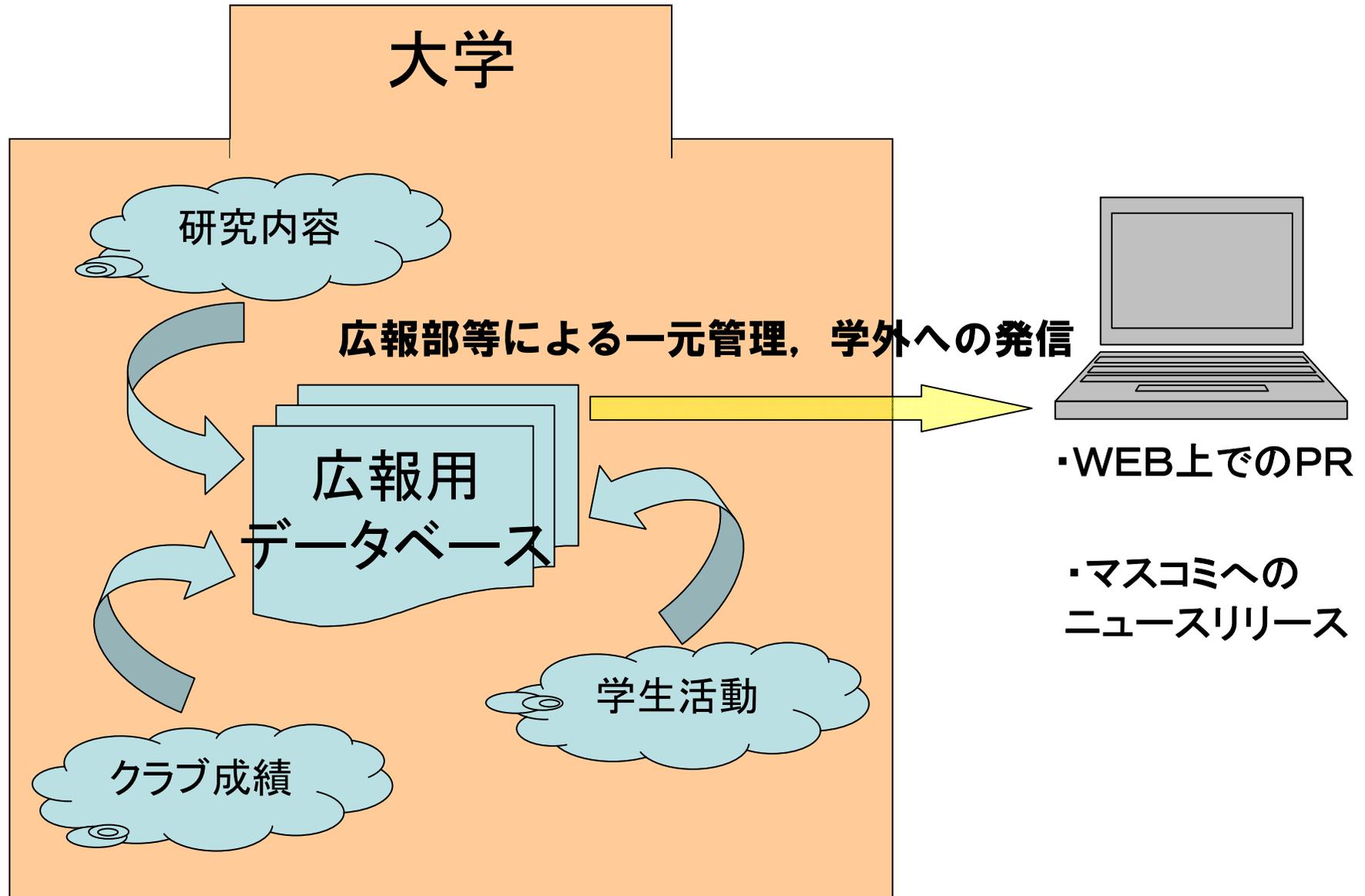
マスコミからの問い合わせ対応や広報PRのために、研究室の研究内容・サークルの活動内容など、大学側でもっと情報を集めたいが集まらない。もっと手軽に集められるツールが欲しいなあ。



そのために・・・

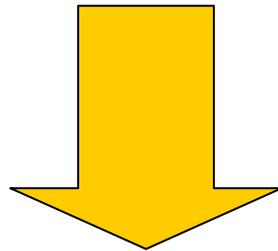
- 学内の研究成果や学生の活動をデータベース化。リファレンス機能を付加することで、必要な情報をスピーディーに取捨選択することができます。
- 個人のアカウントを用いて容易に更新作業ができます。

大学内における情報のデータベース化



まとめ

以上のように、ICT技術を活用した新しいツール・仕事のやり方を開発することで、大学の学生募集力を高めます。



大学業界全体の発展を目指します。

以上